

「総合的な学習の時間」 全体計画

東海大学附属浦安高等学校・中等部

【1】学校教育目標

建学の理念を基盤とする国際協調の精神をもち、広い視野に立った人間性豊かな人材を育成する

中・高・大の一貫教育を特色とした学校で、知・徳・体のバランスがとれた教育を通して、「人格の完成」を目指し、「身体を鍛え、知識を高め、幅広い視野をもって社会貢献できる人間の育成」を達成目標とし、この達成に必要な資質である「高い見識」は学習を通して、「他者の立場になって考える心」は学校行事や部活動などを通して培う。同時に、教育方針の根底に位置付けている「勤労」と「責任」、そして「思いやり」を兼ね備えた人間を育成する。



【2】本校が育成したい生徒像 ～東海大浦安学び方スタンダード～

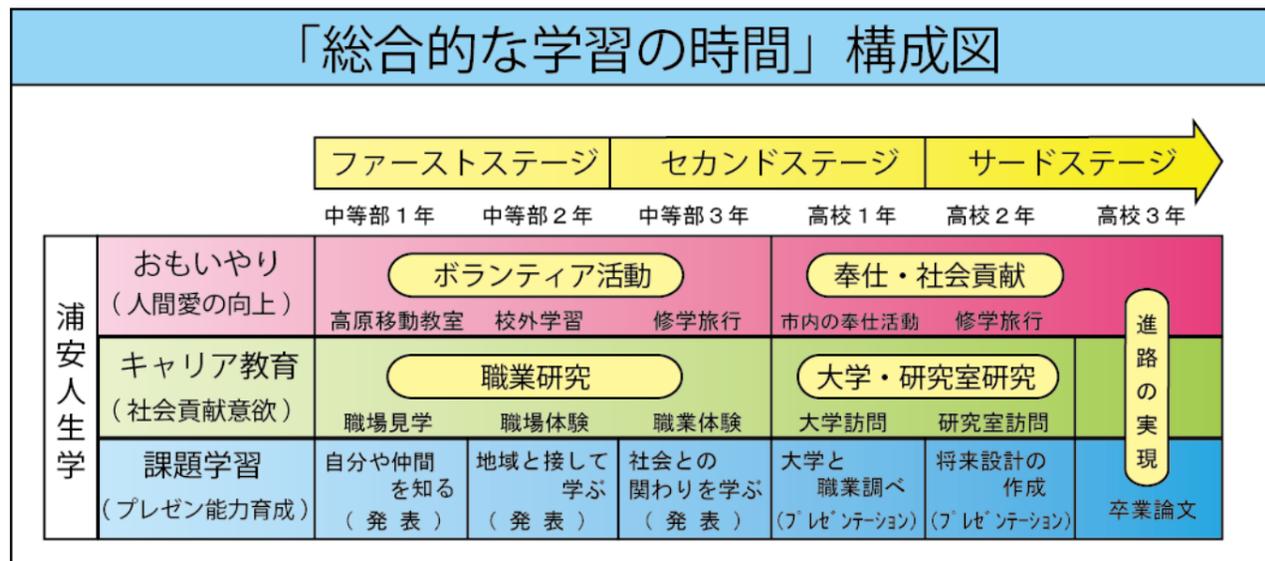
- ①大学の先にある人としての在り方生き方を考える生徒。
- ②高い目標をもち限界までチャレンジする生徒。
- ③思いやりをもち相手のことを考える生徒。
- ④自主的・意欲的に取り組むことができる生徒。

【3】「総合的な学習の時間」で取り組む「生きる力」の育成目標 ～『浦安人生学』を通じた学習目標～

- ①横断的・総合的な学習や探究的な学習、共同的（協働的）な学習に意欲的に取り組む。
- ②自ら進んで課題を見付け、主体的に学び、判断し、より良く問題を解決する資質や力を伸ばす。
- ③学び方やものの考え方を身に付け、人との関わり合いを大切にできる。
- ④学んだことを身近な生活に活かし、地域社会に貢献できる力を高める。
- ⑤自分自身や友だちの良いところに気付き、自己の生き方を考えることができる。



【4】「浦安人生学」全体構想図 ～学びのステージとキーワード～



■職場訪問は保護者等の職場を訪問し、働くことの意義を考察する。職場体験と職業体験は班活動で2～3日間連続で体験する。
■大学及び研究室訪問は、最先端の科学技術や医療技術を見学・体験するとともに、施設見学や講演会を行い、将来の目標や学ぶ意欲を引き出す。

【5】中等部授業計画（思いやり・キャリア教育・課題学習）

- ◎自分や仲間を知る・職場訪問・職場体験◎
- 「総合的な学習の時間」を通じて、生活・学習・進路に関する土台を構築する。
 - ①基本的な生活習慣の構築
 - ②正しいものの見方、判断を学び、感謝の心と思いやり、協調性を育む。
 - ③学ぶことの意義を理解し、人間としての生き方を考える上で、自己をみつめていく。
 - ④職場訪問を通して、社会参画、勤労の意義、自分の将来設計について考える。
 - ⑤学習したことを仲間に伝える。発表する。

I 社会性のあゆみ (思いやり) [自分と相手を考える]	a「充実した中学生を送るために」 b「自己を見つめ他者との融和」 c「思いやりを持つこと、社会の中の自分」 d「自分の考えをまとめよう」 e「発表とまとめ」 f「地域とともに歩む社会」
II 社会貢献のめばえ (キャリア教育)	a「将来の自分を考えよう」 b「職場について探究、訪問、体験しよう」 c「職場訪問について調査報告書を作成しよう」 d「先生による人生の歩みを拝聴しよう」 e「自分の将来に対する考えをまとめ、発表しよう」
III 環境へのやさしさ (思いやり)	a「学校内の美化活動で自分ができること」 b「学校周辺でできる美化活動」 c「企業が取り組む環境対策」 d「地域で取り組む環境対策」 e「地域への役割と働く人の使命感」 f「環境に対する考えをまとめ、仲間に伝えよう」
IV グローバルのとびら (思いやり)	a「日本の文化って何だろう」 b「日本を知ろう」 c「新聞から世界を知ろう」 d「日本と他の国々との関わり合いについて調べよう」 e「日本がもし100人の村だったら」 f「自分の持つ世界とはなんと小さなものでしょう」



【6】高校授業計画（思いやり・キャリア教育・課題学習）	
◎自分や仲間を知る・ボランティア活動、高大連携（大学訪問、研究室訪問）、グローバル化の推進◎ ○「総合的な学習の時間」を通じて、自分史ワークやキャリア教育の実践、奉仕・社会貢献、平和社会への理解 ①相手の立場に立って考える。 ②地域活動やボランティア活動を通じて、「必要とされる自分」を発見していく。 ③地域との関わりを通して新たな自分を発見し、社会貢献へと発展させる。 ④大学訪問、研究室訪問。 ⑤プレゼンテーション力、コミュニケーション力の向上。	
I 自分史ワーク活動（思いやり）	a「充実した高校生活を送るために」 b「自己を振り返り、自己を見つめ、他者との融和をはかる」c「自分の考えをまとめる」 d「社会で活躍している先輩の活動を知る」 eグループディスカッション
II 高大連携 大学訪問・研究室訪問 （キャリア教育）	a「将来の自分を考える」b「進路適性を知る」c「進路を具体的に考える」 d「大学訪問、研究室訪問」 e「自分の将来について考える」
III ボランティア活動（思いやり）	a「地域社会と福祉」b「ボランティア活動とは何か」c「これからの福祉社会」 d「自分ができる他者への思いやり」e「18歳選挙権を得ることから日本の社会を考える」
IV グローバリゼーション（思いやり）	a「国際理解をはかる」b「グローバルな視点に立ち、日本を振り返る」c「世界の一員としての自分」 d「経済のグローバル化を考える」 e「世界がもし100人の村だったら」f「自分の持つ世界とはなんと小さなものでしょう」

【7】育成したい資質や能力および態度	
I 問題発見・課題設定能力	①身の回りの興味関心から自己の将来に関する事、各教科等の学習活動から適切に課題を発見し、設定することができる。 ②問題解決に向けた見通しをもち、計画を立てることができる。 ③探究を振り返り、状況に応じて計画を修正することができる。 ④問題について自分なりの考えをもち、他者を意識したコミュニケーションを通して、表現、発信することができる。
II 学び方やものの考え方	①複雑な問題状況において適切に事実や関係を多面的に理解する力。 ②より良い問題の解決を目指し、比較し、関連付け、総合できる定性的、定量的な考えで取り組める力。 ③問題解決のための見通しをもち、計画を立てる力や情報を収集・整理し、発信する力。 ④自分の良さを伸ばし、成長を実感し自信をもって行動することができる力。
III 主体的な態度・自己の生き方	①学ぶ意義や意味を理解し、より良い自分を創造していこうとする態度。 ②自己を理解し、将来の生き方を考えようとする態度。 ③自分のできることを見付け、実践しようとする態度や日々改善していこうとする態度。 ④新たな自分の良さや可能性を見出だそうとする前向きな態度。
IV 他者や社会との関わりあい	①他者との積極的なかかわりから、新たな価値観に出会い、新たな自分を創造しようとする態度。 ②学習成果を地域社会に還元しようとする態度。 ③問題の解決に向けて、社会活動に参画しようとする態度。 ④他者や異文化への理解と積極的に取り組む態度。

【8】指導方法	【9】指導体制	【10】学習の評価計画
①グループ別編成活動 ②体験、実習を伴う主体的、創造的、共同的な活動 ③アクティブ・ラーニングを取り入れた協働的な活動をはかる。 ④コミュニケーションを中心としたワーキング活動 ⑤ICT機器を用いた情報収集スキルの活用 ⑥ポートフォリオの年次構築と活用、振り返り	①「浦安人生学」をベースに、発達段階に応じたテーマの設定ならびに運用をはかる。 ②学年を軸として専任教員を中心とした指導体制をはかる。 ③横断的に外部講師（外部機関）との連携をはかり、運用にあたる。 ④グループ別指導体制 ⑤外部機関との連携をはかり、総合的な学習の時間の内容に合致したキャリア教育プログラムの構築をはかる。	①観点別学習状況を把握し、評価基準に基づいた評価 ②ポートフォリオを活用した評価 ③コミュニケーション力、グループディスカッション力、プレゼンテーション力などにおける総合評価